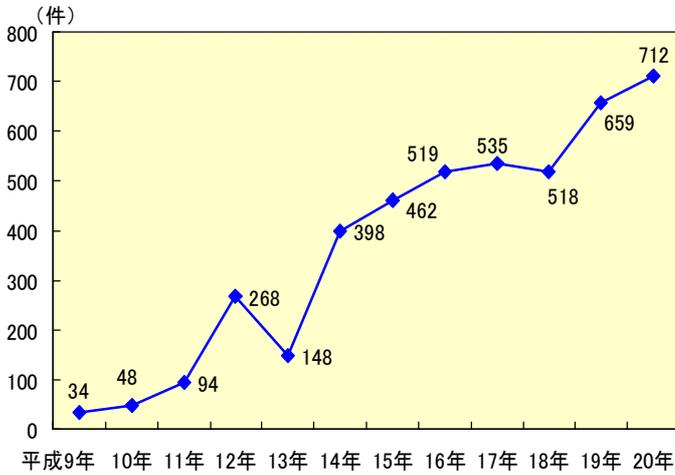


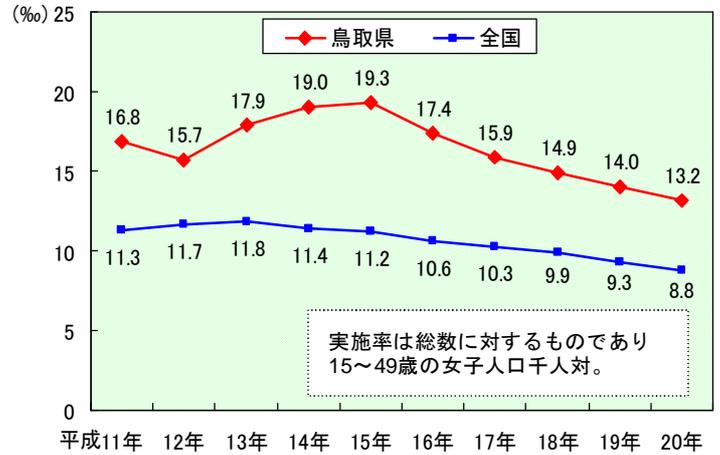
# C 女性の人権が擁護され、だれもがともに自分の意思で生きる権利を守ろう

●DVに係わる相談件数の推移（鳥取県）



【資料：鳥取県子育て支援総室調べ】

●人工妊娠中絶実施率の推移（鳥取県）



【資料：厚生労働省「保健・衛生行政業務報告（衛生行政報告例）」】

## 重点目標

- 1 女性に対するあらゆる暴力をなくそう
- 2 女性の健康を支援していこう



## 社会的性別（ジェンダー）の視点

「社会的性別の視点」とは、「社会的性別」が性差別、性別による固定的役割分担、偏見などにつながっている場合もあり、これらが社会的に作られたものであることを意識していこうとするものです。

「社会的性別」は時代とともに変わるものですが、「男性はこういうものだ」「女性はこうあるべきだ」と決めつけてしまうと個人の能力や選択肢を狭くし、個人の能力を発揮する機会を奪う危険があります。

## 数値目標

	計画策定時	直近	目標値
○ 乳がん検診受診率	24.0% (H16)	→ 26.1% (H18)	→ 40.0% (H23)
○ 子宮がん検診受診率	20.6% (H16)	→ 23.8% (H18)	→ 40.0% (H23)

# 心豊かにいきいき暮らせる社会です！

## 学校では

- あらゆる場面で、「男女共同参画」の視点に立った教育が行われます。
- 性別にとらわれなくて、一人一人の個性を伸ばす教育が行われます。

→ 小・中学校での教育は、子どもたちの人格形成に大きな影響を与えることから、小・中学校での「男女共同参画」の視点に立った教育は、重要です。



## 職場では

- 自分の意思によって、男女がかわりなく「人」として能力を発揮できる職場環境となっています。
- 男性も働き方に対する考え方を換え、仕事中心から、家庭や地域活動とのバランスのとれた働き方をします。

→ 女性の社会での活躍の機会が増える中、男性も家庭や地域社会に積極的にかかわることが必要です。そのためには、男女がともに職場における働き方を見直すことが必要で、企業も、従業員が時間や場所にとらわれない様々な働き方が選べるよう勤務形態を考えることが必要です。

